

# 所沢市小中学校空調設備設置実施計画

平成 30 ( 2018 ) 年 12 月 所沢市教育委員会

## 1 事業の主旨

教育委員会では 8 月の定例会において、市内小中学校へのエアコンを速やかに設置すべく「市内小・中学校へのエアコン設置に対する基本方針」として位置付けた。

この方針に基づき、「所沢市小中学校空調設備設置実施計画」を定めるものである。

「市内小・中学校へのエアコン設置」に対する基本方針

平成 30 年 8 月 21 日

所沢市教育委員会

気象庁は、今年の連日の猛暑を「ひとつの災害」と位置付けた。しかも、この暑さは、今年限りのものではないことも懸念され、その対策は、もはや待ったなしの状況である。

本市では、今年度「マチごとエコタウン所沢構想」の理念に基づき、暑さ対策として「所沢市にふさわしい小中学校の空調設備のあり方」の検討を進めている。地球温暖化防止や省エネルギーに配慮し、学校生活での工夫等も取り入れた「所沢らしい空調設備」の構築を目指すものである。

教育委員会では、児童生徒の学習環境の整備、及び教職員の労働環境の改善に努めることを最大の使命とし、今後の暑さ対策として、地球温暖化防止等も踏まえた市民一人ひとりの主体的取組の推進とともに、学校へのエアコン設置を速やかに実施すべきと考える。その実現に向けて、全力を傾注することを基本的な方針とする。(全文記載)

## 2 エアコン設置対象

### ( 1 ) 設置対象校

防音校舎改修事業により、宮前小学校( 2008・2009 年度 )、狭山ヶ丘中学校( 2016・2017 年度 )、北中小学校( 2018・2019 年度完了予定 ) の、エアコン設置を完了した 3 校を除く市内小中学校 44 校を対象とする。

小学校 30 校 ( 宮前小、北中小は除く )

中学校 14 校 ( 狭山ヶ丘中は除く )

### ( 2 ) 設置教室 ( エアコン設置対象数 )

設置対象室数 : 896 室

内訳 小学校 : 普通教室 548 室

特別教室 90 室

中学校 : 普通教室 216 室

特別教室 42 室

上記設置対象数は文部科学省による普通教室、特別教室の分類に従い算出している。

### 3 事業実施の進め方

#### (1) 事業手法

2020年夏期のエアコン稼働に向け、工事、設計・施工一括、リース、PFI、の4通りの導入方式の比較検討を行ったところ、設置のスピードを重視しつつ、財源として臨時特例交付金（後掲）を受けることにより、できる限り財政的な負担を抑える方策として、本事業においては、設計・施工一括方式を採用する。

#### (2) エアコン設置における熱源

電気、ガスの2通りのエアコンの熱源について、省エネ、維持管理費、地域新電力の供給、学校屋上への将来的な太陽光発電設備の活用可能性などの観点から検討を行った結果、本事業においては基本的に電気式ヒートポンプエアコン（EHP）を採用する。

なお、災害対策の観点から、都市ガス・プロパンガスを熱源とするガス式ヒートポンプエアコン（GHP）も引き続き活用を検討することにする。

#### (3) 防音校舎への対応

防音校舎29校のうちエアコン設置済の3校を除いた26校については、当面、防音機能を維持していく。

#### (4) 設置工事上の留意点

公共施設の品質・性能の確保、コストの縮減、省エネ・省資源・排ガスの削減などの環境対策に積極的に取り組むこととする。

#### (5) 事業者の選定

市内業者の参入を推進するよう事業者の選定における参加要件について考慮した内容とする。

#### (6) 環境教育の推進

環境に配慮した提案型の事業を進めていくこととする。

教育現場においては、エネルギーを大切にす活動や行動を促進させるなど、暑さ対策の取り組みとして環境教育を推進する。

#### (7) 設置後の維持管理

法定点検として2020年度から、フロン排出抑制法に基づいた空調機の点検を行うための予算措置が必要となる。故障時の対応については、設置完了後の瑕疵期間以降については、その都度修繕での対応となる。

## 4 事業費（概算）

### 37億9,500万円

設計・施工一括	・・・	37億3,800万円
	内訳	小学校：26億5,300万円
		中学校：10億8,500万円

積算については、工事で設置を行った近隣市実績における電気式ヒートポンプエアコン設置費用を参考としている。

基本設計・要求水準書作成業務委託	・・・	3,600万円
監理業務委託	・・・	2,100万円

## 5 補助金の活用

文部科学省が、緊急的に整備が必要な事業として、児童生徒等の熱中症対策としての空調設置等に対し1年限りで創設した「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用して事業を実施していくこととする。この特例交付金は、現行の交付金制度と比較して、実質的な地方負担が少ないというメリットがある。

## 6 事業の実施スケジュール（予定）

2018年12月	平成30(2018)年所沢市議会第4回(12月)定例会 補正予算(基本設計・要求水準書作成業務委託・事業費・監理業務委託)
2019年1月	基本設計・要求水準書作成業務委託契約
2019年3月	募集要項公告 プロポーザル方式
2019年5月	仮契約
2019年6月	2019年所沢市議会第2回(6月)定例会 議会契約案件
2019年7月	本契約 監理業務委託契約
2020年3月	エアコン設置全校完了